

県議選候補選考で抗議？

「新市の分裂避けたい」

梶文秋輪島市長(62)が9日までに、上平公一市議会議長に辞職願を提出、受け取り拒否されていたことが分かった。梶市長は北國新聞社の取材に対し「合併間もない輪島市の分裂は避けたいと思った。私の真意をくみ取ってほしい」と述べ、月の石川県議選輪島市選挙区(定数1)をめぐる同市内の自民勢力の対立激化が背景にあることをうかがわせた。



梶文秋
輪島市長

市議長は受理せず

区選出で旧門前町が自民輪島支部に推薦された。地盤の宮下正博氏(61)願を提出。同支部は翌2期で自民勢力が日の常任総務会で官島市選挙区選出の現職候補一本化を図る動下、上田両氏を推薦する。宮下氏は6日、上田両氏を推薦することを決め、旧輪島が昨年12月に不出馬を表明して以降、宮下氏の上田義雄氏(60)が裂選挙が決定的となつてお

9日に梶市長は関係者にも波紋を広げた。輪島市選出の宮下氏は「わしはどつたるのか」と戸惑いを隠せず、関係者

宮下氏「わしはどつたる」

た」と語り、地元での情報収集を急いだ。自民県連の福村章幹事長は「つづいて関係者」

つていたとされる。梶市長周辺は「新市の一体感醸成に心を砕いた市長にとって、旧自治体間が争つことになる現在の流れに強い憤りを感じているのではなかいか。(輪島市が地元)の北村茂男衆院議員にとっても分裂選挙はマイナスだ」と分析する。

上田氏、出馬の構え崩さず

上田氏は9日夜、10日に輪島市議会で予定していた出馬会見を延期する連絡を報道各社にファクスで通知。延期する理由として「梶市長より市議会議長に『市長辞職届』が提出されたため」と説明した。「市長のポーズ」か今回、梶市長が辞職

北国、11.10

解雇の2教授と北陸大に和解勧告
名高裁金沢
北陸大の学部再編に伴うドイツ語教育廃止をめくり、解雇通知された田村光彰教授(64)とドイツ人のルート・ライヒェルト教授(55)が、同大に地位確認などを求めた控訴審の口頭弁論は9日、名高裁金沢支部であり、山本博裁判長は双方に和解を勧告した。和解協議は28日に開かれる。一審金沢地裁は「解雇は権利の乱用に当たり、社会通念上相当であると認められない」として、解雇の無効と解雇通告後の給料の支払いを認めた。

同支部は控訴審判決の言い渡しまでの間、2教授の地位保の損害賠償を求めた訴訟は9日までに、全和解条項によると、加島受刑者は215万円の損害賠償の支払い義務があることを求めた。このうち、100万円を滞りなく割して支払えば、差分の支払い義務は免除されるという。

ミニスカ男 警官に「買春どう？」

愛知県警中村署は9日までに、男性警官に買春を持ち掛けたとして、県迷惑防止条例違反(売春類似行為の客引き)の疑いで名古屋市中区栄1丁目、ペルー人の無職コルドバ・ペレイラ・ジミー・アラン(容疑者32)を逮捕した。中村署によると、同容疑者は外国人登録証明書では男性だが、逮捕時は長髪にミニスカート、ハイヒール姿。署員は「かっぱくはいいが、見た目では男とは分からない」と話している。同署の調べに「お金がないので2年くらい前から売春を始めた」と供述しているという。

ペルー人容疑者「2年前から」

愛知
受刑者と被害損害賠償で和
県内初裁判員裁
石川県内初の裁判員で懲役5年6月判決が確定した元幹部店員加島正人受刑(36)殺人未遂罪で服役中に対し、被害者の金沢市の男性治療費など約3千万円の損害賠償を求めた訴訟は9日までに、全和解条項によると、加島受刑者は215万円の損害賠償の支払い義務があることを求めた。このうち、100万円を滞りなく割して支払えば、差分の支払い義務は免除されるという。